

## 別記様式第6

論文審査の要旨  
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 ( 文学 ) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	白 景皓
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 『法華経』流通分の研究			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		准教授 川村 悠人	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授 根本 裕史	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授 末永 高康	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授 後藤 弘志	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		准教授 赤井 清晃	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		立正大学・名誉教授 三友 健容	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、『法華経』のサンスクリット語原典そのものに対する精読に基づいて『法華経』本来の思想を発掘しようとしたものである。『法華経』の中でも特に研究が進んでいない流通分（第一品及び第十品から第二十品）を考察対象とし、流通の手段（特に供養と受持）、流通の対象（『法華経』の教えと経巻）、流通の主体（法師）という三つの視点を持ってそれぞれの実態を考察し、明らかにしている。</p> <p>序論では、『法華経』及びその漢訳文献類の概要説明、流通分に対する先行研究の概観、研究の目的と方法及び論文構成の提示を行っている。</p> <p>本論第一章では、漢訳『正法華経』「薬王如来譚」の存在意義、後代に編入された『法華経』「提婆達多品」の位置づけ、流通の手段としての供養と受持の概念を検討している。まず「薬王如来譚」と「提婆達多品」がいずれも『法華経』流通分の思想と連絡する内容を持つことを指摘する。次に『法華経』流通分が法供養と財供養の両者を重視すること及び『法華経』の受持とは法華経巻を保持しつつ『法華経』の字句と内容を記憶することであることを指摘している。</p> <p>第二章では、三乗方便と一乗真実の内実並びに法華経巻の価値について考察している。まず、三乗の教えは如来が説く巧みな方便として価値を持ち、一乗の教えへと導く前段階にあるものであること、このような三乗方便の思想は大小各別の思想（大乘と小乗の間に優劣関係を設定する思想）に対抗するものであることを指摘する。次に、一乗の教えは三乗それぞれの教えの対立を無化するものであり、三乗の修行者達を仏智に至らすための唯一の手段であることを指摘する。そして、一乗の教えの媒体である法華経巻が「如来の一塊の遺身（如来全身）」と表現されることによって、衆生達による法華経巻供養が促進されることを指摘している。</p> <p>第三章では、願生の法師の特徴、〈高原鑿水喩〉の構造とそこから理解される速疾成仏の思想、そして『法華経』を通じた成仏を例証する物語について考察している。まず、願生の法師とは、「全ての衆生達を成仏させる」という誓願によって人間に生まれ、一乗の教えを説く『法華経』を衆生達に流通させる存在であり、あらゆる衆生及び教法に対する平等の心を持って仏教界の統一を目指そうと</p>			

する人物として現れていることを指摘する。次に、速疾成仏の思想とは、『法華経』以前の般若経典類などを聴聞し空思想に通達した後、『法華経』を聴聞、受持し、空思想と一乗思想を説示することで、菩薩は速やかに成仏することができるという思想であることを指摘する。そして、「提婆達多品」で描かれる国王、提婆達多、龍女の成仏物語はそれぞれ『法華経』の聴聞、説示、尊崇を通じて衆生が成仏できることを示すものであるとしている。

結論では、一切衆生が成仏できるという一乗思想を核とし、衆生達に速やかな成仏という利益をもたらすものとして流通分が編纂されたことを指摘する。

付論では、本論文に関連する『法華経』（サンスクリット語原典）及び『正法華経』（漢訳）の各箇所に対する詳細な訳注を提示している。

本論文は、インド仏教研究に必要とされるサンスクリット語文献、パーリ語文献、チベット語文献、漢訳文献を駆使した精緻な文献学的研究の成果であり、その確固たる方法論的基盤のもと『法華経』思想に関して重要な新知見をもたらしている。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)